

日本語教育実践アプローチⅡ

科目ナンバリング JLE-302
選択 2単位

日野 純子

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、これまで日本語教員養成課程で身につけてきた、多様な背景とニーズを持つ日本語を母語としない人たちへの支援についてより理解を深めて、支援の実践に向けた準備を固めるクラスです。将来遭遇するであろう日本語支援の場面を想定して、教案を書いて模擬授業を行い、グループで振り返るというサイクルを体験します。その中で、人によりそい、支援するという職業に求められる基本的な態度やスキルを身につけていきます。また、将来、日本語支援に関わる場合、自分にとって何が必要かについて具体的なイメージが持てるようにしましょう。

2. 授業の到達目標

- (1) 多様な背景とニーズをもつ日本語を母語としない人たちへの支援にに必要な度やスキルへの理解を深める。
- (2) (1)のような人たちへの支援を効果的に行えるように準備する。
- (3) 教案をたてる⇒模擬授業を実施する⇒振り返り⇒次の授業に生かす というサイクルを体験することで、日本語支援の現場で求められる基本的な態度・資質を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 平常点(授業への参加、ワークシート、模擬授業への取り組み): 50%
 - (2) 模擬授業、教案2、3回、最終テスト: 50%
- *正当な理由なく5回以上欠席した学生には単位を与えられません*

4. 教科書・参考文献

教科書
特に指定しない

5. 準備学修の内容

このクラスでは、教員による講義だけでなく、ペアやグループでの話し合いや個人での作業をしながら学んでいきます。模擬授業のための教案を書いて、授業を行い、それをグループで振り返るというサイクルを繰り返す中で、他人と協働し、建設的に意見を述べる態度が重要です。また各自で教案を書いて模擬授業を行うための準備の時間も授業外で必要となります。

6. その他履修上の注意事項

- (1) 各自、真摯な態度で授業や課題にのぞみましょう。
- (2) 遅刻、早退、欠席は避けましょう。
- (3) 第1回目の授業には、必ず出席してください。
- (4) グループやペアでの作業には、相手を尊重しつつ積極的に参加しましょう。
- (5) 大学での学びは、教員から一方的に与えられるものではありません。一人一人が他者に配慮をしながら、積極的に授業に参加することでよいクラスになり、みなさんの学びと成長につながります。

7. 授業内容

【第1回】	オリエンテーション
【第2回】	初級文法の概観1
【第3回】	初級文法の概観2
【第4回】	授業の組み立て・教案づくり
【第5回】	文法の教え方(ビデオ・動画)模擬授業準備
【第6回】	第一回 模擬授業1と振り返り 子ども対象
【第7回】	第一回 模擬授業2と振り返り 中・高生対象
【第8回】	第一回 模擬授業3 大人対象
【第9回】	第一回 模擬授業の振り返りと教案の立て直し
【第10回】	第二回 模擬授業1 子ども対象
【第11回】	第二回 模擬授業2 中・高生対象
【第12回】	第二回 模擬授業3 大人対象
【第13回】	第二回 模擬授業の振り返りと改善点の内省
【第14回】	まとめと最終レポートの準備
【第15回】	最終レポートの発表